



平成30年3月期第2四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成30年3月期第2四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 上原悦人
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	昭和33年(1958年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社
従業員数	〔グループ全体〕5,438名 (当社単体) 6名 (連結子会社) 4,860名 (持分法適用関連会社) 572名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	41,240,174,500円

平成29年9月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (平成28年11月より代表取締役会長に就任)
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成29年9月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90% ※1
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.14%

【再生ビジネス】

IT (デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社	96.77% ※2
------------------	------------	-----------

■ エイチ・エス・アシスト(株)は、平成29年6月に清算終了したことにより、同社は当社の持分法適用関連会社から除外。

■ (※1)平成29年6月、当社はキルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)の株式を取得したことにより、同社は当社の連結子会社となる。

■ 平成29年7月、当社が保有するエイチ・エスライフ少額短期保険(株)の株式を売却したことに伴い、同社は当社の持分法適用関連会社から除外。

■ (※2)平成29年9月、iXIT(株)が第三者割当増資を実施したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は100.00%から96.77%となる。

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	平成29年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
● iXIT株式会社	平成27年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4月～9月)	前年同期比
営業収益	23,891	24,809	103.8%
純営業収益	10,786	12,058	111.8%
営業利益	2,550	3,250	127.5%
経常利益	2,517	3,368	133.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,360	2,221	94.1%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成29年3月期末 (平成29年3月末時点)	平成30年3月期 第2四半期末 (平成29年9月末時点)	前年同期比
総資産	365,254	385,297	105.5%
純資産	62,178	66,997	107.8%
現預金	67,147	69,489	103.5%

主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、モンゴル経済が減速している状況下にもかかわらず、資金運用収益は順調に増加。また、為替ヘッジを目的とするスワップ取引の評価損益も大幅に改善し、前年同期比で増収増益を達成。一方で、現地通貨安(円高)は当社の連結決算(円建て)にマイナスの影響。

営業収益 209億68百万円 (前年同期比 6億95百万円増)

営業利益 26億63百万円 (前年同期比 3億21百万円増)

- 【証券関連事業】エイチ・エス証券(株)は、米国株式の販売好調等もあり、前年同期比で増収増益。

営業収益 20億68百万円 (前年同期比 4億73百万円増)

営業利益 3億55百万円 (前年同期比 3億45百万円増)

- (株)外為どっとコム(株)の減益及びソリッド銀行の業績低迷等により、持分法による投資損失は16百万円(前年同期は持分法による投資利益2億64百万円)となる。

- 営業収益、営業利益、経常利益は前年同期比で増加。しかしながら、前年同期は関係会社株式売却益12億8百万円を特別利益として計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で減少。

セグメント別業績

平成30年3月期第2四半期 (平成29年4月1日～9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	20,968	2,068	1,114	687	209	24,809
営業費用	18,304	1,712	995	687	166	21,558
営業利益	2,663	355	119	△0	42	3,250
経常利益	2,768	372	85	△9	249	3,368

平成29年3月期第2四半期 (平成28年4月1日～9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	20,273	1,594	1,286	765	296	23,891
営業費用	17,931	1,584	1,165	816	139	21,341
営業利益	2,341	10	120	△50	157	2,550
経常利益	2,341	39	95	△49	274	2,517

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

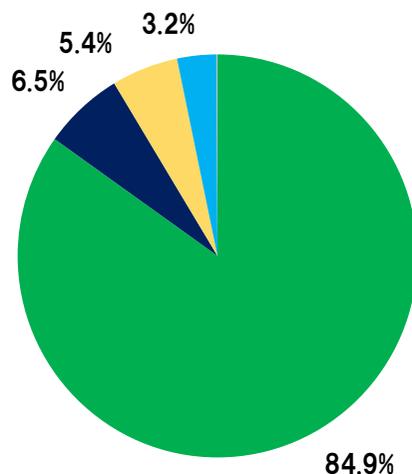
営業収益の構成

事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

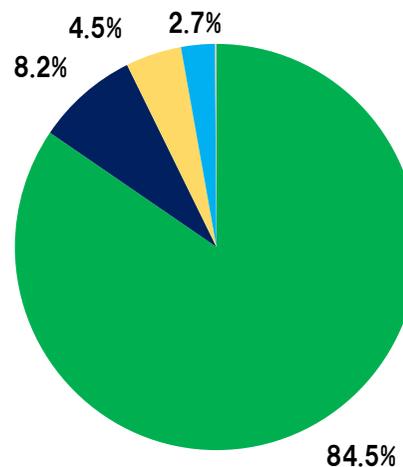
（単位：百万円）

セグメント	期間	平成29年3月期第2四半期 （平成28年4月～9月）	平成30年3月期第2四半期 （平成29年4月～9月）	前年同期比
銀行関連事業		20,273	20,968	103.4%
証券関連事業		1,554	2,026	130.3%
債権管理回収関連事業		1,286	1,114	86.6%
IT関連事業		763	672	88.2%
その他事業		14	27	193.9%
合計		23,891	24,809	103.8%

平成29年3月期第2四半期
23,891百万円



平成30年3月期第2四半期
24,809百万円



- 銀行関連事業
- 証券関連事業
- 債権管理回収関連事業
- IT関連事業
- その他事業

澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目	期間	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4月～9月)	平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4月～9月)	前年同期比
営業収益		507	448	88.3%
営業利益		368	281	76.5%
経常利益		221	505	228.7%
四半期純利益		808	761	94.3%
総資産 (前期末/当四半期末)		28,277	27,980	98.9%
純資産 (前期末/当四半期末)		25,668	25,618	99.8%

主な増減要因

- M & A仲介事業による収益増加はあったものの、関係会社数の減少に伴う経営管理料及び関係会社配当金の減少により、営業収益、営業利益は前年同期比で減少。
- 為替差益の増加(前年同期は為替差損)により、経常利益は前年同期比で増加。
- 投資有価証券売却益は増加したものの、前年同期において特別利益として関係会社株式売却益6億68百万円を計上していたため、四半期純利益は前年同期比で減少。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	平成28年12月期 第2四半期 (平成28年1~6月)	平成29年12月期 第2四半期 (平成29年1~6月)	前年同期比
所在地	モンゴル国 ウランバートル	Interest income (資金運用収益)		315,202	411,252	130.5%
資本金	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		118,361	155,172	131.1%
議決権の 所有割合	54.41%	Profit for the period (四半期純利益)		45,981	71,029	154.5%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) (前期末/当四半期末)		6,487,387	6,770,175	104.4%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、資金運用収益、融資残高、預金残高ともに前年同期比で増加。また、為替ヘッジ目的のスワップ取引の評価損益が前年同期比で大幅に改善したこともあり、業績は前年同期比で増益。
- モンゴル政府が国際通貨基金(IMF)から4億40百万ドルの拡大信用供与措置(EFF)を受けることについて、6月にIMF理事会に承認されたことや、石炭の輸出増加等もあり、モンゴル経済は回復の兆しが見え始めた。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。また、バスの料金を支払う「シティ・パスカード」の発行など、更なるサービスの向上に努めるとともに、モンゴル経済を注視しつつ、慎重な姿勢で経営に臨む。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比	【為替レート】 平成29年6月末 1円 = 20.97MNT 平成29年1月~6月平均 1円 = 21.56MNT
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	3,629,818	4,296,568	118.4%	
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	2,910,273	3,252,115	111.7%	

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)	平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	1,594	2,068	129.7%
資本金	3,000百万円	営業利益	10	355	3401.8%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	39	372	939.9%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	173	395	228.6%
		総資産 (前期末/当四半期末)	39,267	41,950	106.8%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 米国株式の店頭取引や外貨建て債券の販売が好調に推移したことにより、前年同期比で増収増益。また、国内株式市場も上昇基調であり、預り資産も前年同期比で増加。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、外部環境に左右されない安定的収益の確保や、フィデューシャリー・デューティー(顧客本位の業務運営)の確立、インターネット取引の利便性向上及びシェアの獲得を目指す。
- 新規公開(IPO)4社、既存公開企業1社の幹事に参入。

	平成28年9月末	平成29年9月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	316,619	390,164	123.2%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)</th> <th>平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,286</td> <td>1,114</td> <td>86.6%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>120</td> <td>119</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>95</td> <td>85</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>四半期純利益</td> <td>63</td> <td>56</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>総資産 (前期末/当四半期末)</td> <td>3,501</td> <td>4,054</td> <td>115.8%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)	平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)	前年同期比	売上高	1,286	1,114	86.6%	営業利益	120	119	98.7%	経常利益	95	85	89.5%	四半期純利益	63	56	89.2%	総資産 (前期末/当四半期末)	3,501	4,054	115.8%
科目	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)		平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)	前年同期比																						
売上高	1,286		1,114	86.6%																						
営業利益	120		119	98.7%																						
経常利益	95		85	89.5%																						
四半期純利益	63		56	89.2%																						
総資産 (前期末/当四半期末)	3,501	4,054	115.8%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 金融機関のバルクセールにおける落札価格の高騰が続く状況下において、利益率の低下はあるものの、債権の買取及び無担保債権からの回収を推進。しかしながら、前年同期に大型回収案件があったことの反動により、前年同期比で減益。
- 前年同期に回収した大型案件を除いた回収高は、前年同期比で増加。大型案件に頼らない売上の確保を構築し、更なる債権買取と人員強化を図り、増収増益を目指す。
- 中小企業庁より認定を受けた経営革新等支援機関として、企業再生分野への取組みについて金融機関に積極的な提案を推進。

	平成28年9月末	平成29年9月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	1,091	872	79.9%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	130	101	78.0%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	期間	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)	平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益		3,957	3,120	78.8%
資本金	778百万円	営業利益		1,579	835	52.9%
議決権の 所有割合	40.14%	経常利益		1,462	893	61.1%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益		999	631	63.1%
		総資産 (前期末/当四半期末)		129,107	132,297	102.5%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)が前年同期比で縮小(昨年は6月の英国のEU離脱決定等によりボラティリティが拡大)したことに伴い取引量も減少。また、システム基盤の更改等もあり、前年同期比で減益。
- 「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。また、各種キャンペーンの実施等により、シェア拡大を目指す。

	平成28年9月末	平成29年9月末	前年同期比
口座数 (件)	430,018	454,941	105.8%
預り資産残高 (百万円)	112,321	115,429	102.8%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	平成28年12月期 第2四半期 (平成28年1~6月)	平成29年12月期 第2四半期 (平成29年1~6月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)		167	160	96.0%
資本金	1,782百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		369	474	128.5%
議決権の 所有割合	40.00%	Profit for the period (四半期純利益)		△119	△324	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) (前期末/当四半期末)		10,892	10,433	95.8%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 資金運用収益は前年同期比で減少。また、保証業務や貴金属取引等の非業務収益も前年同期比で減少。さらに、法人税等調整額の影響等もあり業績は低迷。なお、貸倒引当金は、積増額は前年同期比で減少したものの、依然として高い水準で推移。
- ロシア経済は、原油価格の回復等により、実質GDP(4-6月)は前年同期比2.5%増加。しかしながら、欧米諸国による経済制裁は継続。また、長引く経済低迷等により銀行数は減少し、8月には大手銀行が中央銀行の管理下に入るなど、厳しい状況が続く。
- ソリッド銀行は、ロシア経済を注視しつつ、優良企業への貸出や、保証業務・貴金属取引等の非金利収入の増加に注力。また、業務の合理化及び財務状況の改善に取り組む。6月にはロシア極東で最大級の都市であるウラジオストクに本店を移転。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比	【為替レート】 平成29年6月末 1RUB = 1.89円 平成29年1月~6月平均 1RUB = 1.94円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	7,627	7,383	96.8%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	5,914	6,488	109.7%	

キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)

(単位:百万KGS)

商号	所在地	資本金	議決権の所有割合	主要事業	期間			前年同期比
					科目	平成28年12月期 第2四半期 (平成28年1~6月)	平成29年12月期 第2四半期 (平成29年1~6月)	
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	キルギス共和国 ビシュケク	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	52.90%	銀行業	Net interest income ※ (純資金運用収益)	21	19	91.2%
					Operating profit (純業務収益)	△ 82	△ 62	-
					Profit for the period (四半期純利益)	△ 85	△ 66	-
					Total assets (総資産) (前期末/当四半期末)	1,323	2,058	155.6%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 平成29年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 6月に、第三者割当増資による自己資本を増強。また、融資残高は前年同期比で大幅に増加。一方で、預金増加等に伴う金融費用の増加により純資金運用収益は前年同期比で減少。また、システムや人員強化に伴う販管費も増加。なお、法人への貸出時における引当金の積み増しが現地法令で義務づけられているため、融資の急増に伴い引当金も増加し、短期的に利益を圧迫。
- 優良顧客への貸出しの増加に注力。また、得意とするカード事業やネットバンキング等を積極的に推進し、新たな金融商品・金融サービスの提供に取り組み、来期(平成30年12月期)の黒字転換を目指す。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示。
 ※ 平成29年6月に当社子会社となったキルギスコメルツ銀行の業績について、当社の連結決算では、第1四半期は貸借対照表のみ連結し、第2四半期より損益計算書も連結。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比	【為替レート】 平成29年6月末 1KGS = 1.61円 平成29年4月~6月平均 1KGS = 1.62円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	794	1,147	144.4%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	390	799	204.6%	

《連結》

(単位:百万円)

商号	ixIT株式会社	期間		前年同期比	
		科目	平成29年3月期 第2四半期 (平成28年4~9月)		平成30年3月期 第2四半期 (平成29年4~9月)
所在地	東京都世田谷区	売上高	765	687	89.7%
資本金	410百万円	営業利益	△58	4	-
議決権の 所有割合	96.77%	経常利益	△56	6	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	△154	5	-
		総資産 (前期末/当四半期末)	710	817	115.0%

会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信やモバイルアプリケーション開発を展開
- ② 平成27年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックス(現ixIT(株))の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 既存のコンテンツ課金収入が減少傾向にある中、経営体制を刷新し、抜本的な改革に取り組んだ効果が徐々に顕在化し、業績は前年同期比から大幅に改善。
- 経営体制の刷新に伴い、新規事業の開始、新規顧客の開拓に向けた営業の強化及び組織改編、固定費の削減等を実施し、新規受託案件は堅調に増加。また、新規事業の開発資金の増強のため、9月に増資を実施。
- ハウステンボスのVR(バーチャルリアリティ:仮想現実)を用いた体感型アトラクション、インタラクティブメディア「TIG」、株主優待ポイントシステムなど、今後も新規事業を積極的に展開。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当第2四半期連結累計期間における当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第2四半期決算日(6月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成28年1月～6月(又は6月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成28年12月期第2四半期		平成29年12月期第2四半期	
		期末レート (平成28年6月末)	平均レート (平成28年1月～6月)	期末レート (平成29年6月末)	平均レート (平成29年1月～6月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 19.31MNT	1円 = 17.87MNT	1円 = 20.97MNT	1円 = 21.56MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	-	-	1KGS = 1.61円	1KGS = 1.62円 (平成29年4月～6月)
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 1.62円	1RUB = 1.62円	1RUB = 1.89円	1RUB = 1.94円

※ 平成29年6月の株式取得により当社の連結子会社となったキルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)について、当社の連結決算では第1四半期は貸借対照表のみ連結し、当第2四半期より損益計算書も連結。また、現地通貨(KGS)を円換算する際に使用する為替レート(平均)は、平成29年4月～6月の平均値を使用。